

同窓会だより

編集発行／岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会事務局
(〒501-0407 岐阜県本巣市仏生寺859-1・TEL (058) 324-1201 FAX (058) 323-0651)

卒業生総数：
27,070人
旧中： 2,571人
高女： 2,592人
高校： 21,907人



桜咲く校庭東南隅より校舎を望む

同窓会が行う事業等もそれぞれの旧同窓会のままで運営していき、平成十八年四月以降の同窓会の役員構成及び財政の一本化を完了して、新しい同窓会体制を確立していきたいと思っております。

先日、本巣松陽高等学校としては第一回に当たる卒業式に同窓会長として招待を受け、式に臨席しましたのでその様子と私の感じたことを述べさせていただきます。式場の正面には国旗の日の丸が揚げられ、教頭先生の開式の宣言の後、国歌を斉唱し、厳粛のうちにも整然と進められ、佐久間校長先生から卒業生二百八十二名に対し卒業証書が、また三十九年間皆勤者五十二名に対して皆勤賞が授与されました。次に校長先生の祝辞と訓辞があり、来賓の県議会議員、PTA会長、そして同窓会長と祝辞が続ぎ、私は、「卒業の日は次の道へ進む出発点であり、今後はいろいろな人と交わりがありますが、『水は方円の器に随い、人は善悪の友による』という諺があるように、よく自分で識別して人格の形成に努めていっていただきたい。また卒業生の皆さんは本日から同窓会の会員としてその目的を理解し、将来には学校への恩返しへの想いも込めて同窓会の行う事業に参加してほしい。」というお願いを申し上げました。

式場は、長い歴史と伝統ある学校らしく、生徒の頭髪や服装も清潔にして端正で、行動も整然として乱れもなく、本当に良い印象を受けました。在校生も地域社会の人から愛され、学校も尊敬される学校に向かって邁進されんことを祈って筆を置きます。

本巣松陽高等学校となつて 第1回 卒業証書授与式に参列して

同窓会会長 若原忠義



同窓会の会員の皆様、花開く四月の良

い季節となり

ました。日本の社会の各分野で多くの人が御健勝にて、活躍されているものと推察いたしました。お喜び申し

上げます。平素は同窓会の行事や活動にご協力を賜り、心から感謝をいたしております。

本年は学校創立八十五周年の節目の年になります。また昨年の四月一日から旧本巣高校と旧岐陽高校が合併して、新しく本巣松陽高校となつてから既に一年が経過いたしました。そして新しい校名になつて初めての卒業式が三月一日に行われました。本年の卒業式と来年の卒業式は旧本巣高校へ入学した者は本巣市佛生寺の本巣校舎にて、旧岐陽高校へ入学した者は岐阜市西秋沢の岐阜校舎で行うことになっております。

併して、新しく本巣松陽高校となつてから既に一年が経過いたしました。そして新しい校名になつて初めての卒業式が三月一日に行われました。本年の卒業式と来年の卒業式は旧本巣高校へ入学した者は本巣市佛生寺の本巣校舎にて、旧岐陽高校へ入学した者は岐阜市西秋沢の岐阜校舎で行うことになっております。

あります。

同窓会本部総会から

副会長 古田 弘

平成十六年度本巣松陽高等学校同窓会本部総会が、「岐阜観光ホテル 十八楼」において八月十四日(土)午前十一時から行われました。

総会は、若原忠義同窓会会長、佐久間朋子校長の挨拶に続いて、宗宮治男氏(昭和十七年卒)を議長に選出し、左記の議案を審議し、原案通り承認されました。

- 一、平成十五年度事業・会計報告
- 一、会計監査報告
- 一、平成十六年度事業・予算計画
- 一、役員について

議事終了後、喜寿の祝いを行いました。今年度は、昭和二十年卒(中学)・昭和十九年卒(高女)が対象で、十八名の方々に会長から記念品が授与されました。



喜寿の祝いを受けられた皆さん

例年、総会後に同窓生を講師に迎えて(一昨年は、昭和二十五年卒の加納宏幸氏、昨年は昭和二十年中学卒の劇団はぐるま代表、こばやしひろし氏)講演会を行いました。今年度は予定していた講師の都合がつかなくなり、急遽中止させていただきました。

また、卒業後三十年に当たる当番学年が、すでに年の始めに同期会を開催したことで、今年度の総会及び懇親会への出席を辞退させてもらいたいとの連絡があり、出席者減となりました。そこで代表の方のみ出席をお願いしました。

本巣高女の校歌に

当時を偲んで

懇親会では、喜寿の男性の方に本巣中学在学当時の歌を、現在の校歌の曲に合わせて声高らかに歌っていただきました。

また、本巣高女の校歌は『八十周年記念誌』には掲載されていますが、これまで歌う機会がありませんでしたので、今回の喜寿の方々をお願いをいたしました。皆さんから「是非、合唱したい。」という強い希望もあ

平成十六年度岐阜県立本巣松陽高等学校(本巣高等学校)同窓会本部総会



本巣高女の校歌を合唱

り、歌っていた。ステージで歌い終えた後の「本当に良かった！感激でした！」という喜びの言葉に、当時を懐かしみ、偲ぶ校歌の持つ意味をあらためて感じさせられました。ちなみに女学校校舎のあった地は、現在は北方中学校になっており、当時の面影はありません。

豊栄のぼる 日の本の
やまと女と 生まれし我等
御代に御国に 尽くさんためと
日毎にいそしむ 学びの業に
我等本巣の 学び舎の
誉を揚げん 名を揚げん

この高女の校歌は、昭和十六年頃から昭和二十一年(最終の高女入学の年)に入学された方までは記憶があるはずですが、譜面の記録がなく、卒業生の方たちに働きかけてやっと

探し出し、『記念誌』に掲載できたものです。

今後の同窓会

統合により校名が変わりましたが、平成十八年までは旧来の活動を継承していくことにしています。しかし、平成十九年四月からの一本化に向けての準備は理事会を中心として進めていきます。

また、本部総会及び懇親会を盛り上げていくためには、新旧幅広い年度の卒業生の参加が不可欠です。各学年の理事の方々も一人でも多くの方に呼びかけていただき、積極的に総会への参加をお願いいたします。



このあたり
目に見ゆるものは

皆涼し

松尾芭蕉の句碑のある

湊町の「十八楼」

関東支部だより

新役員を選出、 講演では船木山古墳群の話も

支部長 守屋 保

平成十六年度総会は四月十八日(日)、東京「アルカディア市ヶ谷」で開催しました。本部から若原会長、佐久間校長、戸田事務局長のお三方をお迎えし、会員九十一人の参加を得て総勢九十四人で盛大に行いました。最年長の参加者は、昭和八年卒の木野村扶桑さんでした。

総会では来賓祝辞に次いで議事に入り、山田氏(昭22卒)の議長により、関東支部の新役員を選出しました。支部長に守屋保(昭27卒)、副支部長に小野治郎(昭28卒)、大西芳樹(昭30卒)、福田英明(昭31卒)、生方文枝(昭32卒)の各氏に決定しました。



佐久間校長、若原会長と熟年支部会員

次に守屋尚氏(昭21卒)の特別講演、演題「古代の美濃」を拝聴しました。

講師の守屋氏は、長年の研究成果の中から揖斐川、長良川、木曾川の各流域の時代に応ずる石器、古墳などを紹介された後、船木山古墳群などから古代の美濃は光り輝いていたと結論された。会員は我がふる里におおいに誇りを感じるとともに、ますます愛着が湧きました。懇親会は山田(昭22卒)、後藤

懐かしき青春の思い出

昭和28年卒 小野 治郎

私は当初、北方高校(現在の岐阜農林高校)に入學し、二年生から本巣高校に通うことになりました。しかもその時は三年生の先輩との混合授業でした。

当時の校長先生は、今は亡き近藤次雄先生と記憶しています。三年生は二組で、担任は戸部秀済先生でした。たしか「古文」を教わったと思います。松尾克美先生には「現国」。ガンさんこと「英語」の高橋巖先生。大変厳しかった「解

(昭39卒)両氏の音頭で乾杯に始まり、初参加者の紹介、還暦組(昭37・38卒)の特別出演、大野清一氏(昭32卒)のギター演奏で盛り上がりました。また「お楽しみゲーム、追想ふる里ビンゴ」はふる里の言葉を素材とし、国井(昭29卒)・福田(昭31卒)両氏の軽妙な司会により最高潮に達しました。

最後は、国井氏をリーダーに校歌で締めくくり、再会を誓い散会しました。



関西支部は都合により開催できませんでした。また、名古屋支部は三年に一回行うようになりましたので、次回は平成十八年に開催される予定です。

析)の河村武彦先生。少しにやけた「物理」の高野千春先生等思い出せばきりがなく、多くの先生方にお世話になりました。今は亡き多くの恩師、友人に育まれて今日の自分があるのだと改めて感謝の念でいっぱいです。

校舎は、旧制中学時代の木造のガタピシ校舎。赤レンガが一部欠けた校門。秋の夕日に映える体育館前のイチヨウが今でも脳裏に焼き付いています。東に金華、西に伊吹の山を望み登下校したものでした。ああ懐かしの青春の一コマ。

名鉄揖斐線 完全に廃止



これまで、岐阜駅から黒野まで運行されていた名鉄揖斐線が平成十六年度末で廃止となりました。

本校生は通学に自転車を利用している者が多いのですが、それでも揖斐線利用者は全校の十四%(百二十四人)います。

その代替えバス四路線がこの四月から運行されています。

- ① 大野・北高線(大野町役場⇔岐阜北高)
 - ② 岐阜・高専線(新岐阜⇔岐阜高専)
 - ③ 政田・忠節線(リバーサイドモーター⇔新岐阜)
 - ④ 大野・穂積線(大野町役場⇔JR穂積駅)
- ①と②は学生向け路線のため、大野・北高線では朝は北高行き、夕方は大野町行きのみ運行し、岐阜・高専線は朝は岐阜高専行き、夕方は大野行きのみ運行しています。一般も乗車できますが、平日だけの運行となっています。

課題研究の成果を発表 ～家政科～

家政科の三年生による「課題研究発表会」が本県市内の糸貫ぬくもりの里で行われ、七十九人が十七のグループに分かれ看護、食物、保育、被服の四分野で研究成果を発表しました。

「自閉症、ダウン症、小児ガンといった病気や障害のある方との交流を通じた理解と心のケア」「酵母による究極のパン作り」「保育実習を通じた壁面による造形遊び」「和洋混合のドレス製作」などについてプレゼンテーション形式で発表しました。

なかでも神社の宮司さんから指導を受け、平安時代の正装十二単と束帯のレプリカに取り組んだグループもありました。

「着物のもつ細やかさを知り、日本の伝統的な服装を来世に伝えてい



自作した十二単と束帯を身にまわって

平成16年度「課題研究」集録



岐阜県立本巣松陽高等学校 家政科

『研究集録』の表紙

きたいと強く思いました。」と感想を述べていました。
その家政科も平成十七年度を最後に幕を閉じることになります。

普通教室へ冷暖房設備導入 本校でも十七年度から

近年、都市部を中心に温度が上昇するヒートアイランド現象の影響で、夏場の教室温度も高温化し、授業の効率低下が指摘されています。

文部科学省では平成十五年度より特別教室に限られていたエアコン設備の補助対象を公立の小・中・高校、特殊教育学校の普通教室に拡大する方針を発表しています。

本校でもクーラーの設置委員会を設け、PTA会長を委員長に、平成十六年十一月四日、第一回の会合が行われました。PTA会員のアンケート調査結果を踏まえ、二十七教室にガスヒートポンプ式空調システムが取り付けられる運びとなりました。
七月下旬の夏季補習時期のうだるような蒸し暑い教室から解放される喜びは生徒も教師もひとしおです。

平成十六年度 部活動等の成果

体育系

女子バレーボール部

・ 東海選抜大会

第2位

・ 県新人大会

準優勝

・ 岐阜地区総体

優勝

ラグビー部

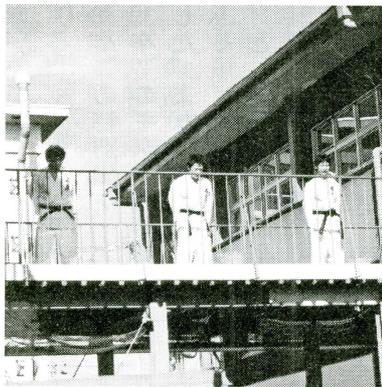
・ 東海7人制大会

第2位

「パンカラ」の風潮、復活?

平成十七年度大学入試センター試験前日の一月十四日には、集会の後一部の有志により、センター試験に臨む百三十五名の生徒を激励するためのパフォーマンスが飛び出しました。

本館と格技場の間の通路で、既に推薦入試等で進路先が決定している同級生仲間が頭から水をかぶり、激励のエールを送ってくれました。
本校には、こうしたことは近年無かったことで、見ている者に驚きと感動とやる気を与えました。



寒風の中、有志による激励が

・ 岐阜地区総体 第3位

水泳部 出場 河野 光希

柔道部 第3位

・ 県高校総体 男子団体

文化系

・ 県総合文化祭連合音楽会 金賞

書道部

・ 国際高校生選抜書展

・ 入選 北洞由香里

・ 県総合文化祭 共同作品 優秀賞

美術部

・ 全国高校生グランプリ デザインイ

ラスト部門 入選 牧野 友里

・ 県美術展青年部デザイン部の

入選 松浦 知美

吹奏楽部

・ 中部日本吹奏楽コンクール県大会

大編成の部 優勝・審査員特別賞

・ 岐阜県吹奏楽コンクール 銀賞

・ 岐阜県アンサンブルコンテスト

岐阜地区大会

クラリネット八重奏 金賞

サクソフォン八重奏 金賞

家政科

・ 牛乳、乳製品利用料理コンクール

優秀賞 奥村久美子

・ 鶏卵、鶏肉料理コンクール

奨励賞 富士田有記

その他

・ 県青少年読書感想文コンクール

県教育委員会賞 佐藤里瑠子

佳作 森藤 菜月